



みなみ

発行日 平成30年1月9日



No.11

人として生きるとは… ～ 新年のスタートにあたって～

校長 宮 居 伝

新年 あけましておめでとうございます

本年も、保護者のみなさまや地域の方々のご理解ご協力を賜りながら、本校の教育活動を進めて参りたいと考えております。どうかご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

ところで、「滋賀教育（社団法人滋賀県教育会発行・第755号）」という新聞に、次のような投稿が書かれてありました。（新年のスタートにあたり、大切にしたい思いで紹介します。）

教育は、『人として生き抜く・人と関わって生きる・社会全体と関わって生きる・自然と共に生きる』の四面を育むことにあると思いますが、いずれも、自らに内在する「自我」との戦いであると、つくづく思うこの頃であります。

人として生き抜くためには、基礎的な学力が必要です。学力は、内容知・自分知・方法知に分類できますが、現在の教育の現状は、自分知つまり己を知る教育が弱く、方法知についても、最近やっと深い学び等の言葉が全面に出てきましたが、依然として知識の量・正解を出すスピードが問われることが主流であり…（中略）…。

人と関わって生きるについては、人と人の距離感・言葉による関係性づくりが弱く、三人以上の人数による集団づくりにおいて、集団内ルールづくりや、役割分担といった関係性づくりが苦手な子どもたちが増加していて、極端な場合、関わりから逃避する子どももいます。

社会全体と関わって生きるについては、一人ひとりの言動が、社会を大きく動かす力があることの経験が少なく、そういった視点での学級・学年・学校全体の取組の弱い現状は、無関心・無責任に生きることを良しとする風潮で、子どもたちを包み込んでいるように思えます。

自然と共に生きるについては、自然の驚異を感じずにはおられない災害が多発しているにもかかわらず、自ら被害を受けないと、その痛みがわからない現状、…（中略）…。

現在の社会の四面で共通するのは、一人ひとりが「自我」との戦いをする必要のない社会、それを避けることが賢い生き方であると思ってしまう社会が存在し、そのような中では、リーダーも産まれず、力強い成員も産まれない、全員がその他大勢の社会が形成されていくことが懸念されます。

今一度、「人として生きる」とはと、問いかけ、自我と戦う人づくりが求められていると考えています。

少し難しい内容ではありますが、教育や子育てに携わる私たちが大切にしなければならない視点であると、改めて肝に銘じたいと思っています。

ワンダフルな一年にとの願い込めてスタートした2018年（戊戌年）が、子どもたちはもちろん、みなさま方にとりまして、ぜひ幸多き年となりますようご祈念いたします。



第3学期始業式



新年の抱負

1月の行事予定

- 9日(火) 第3学期始業式
- 10日(水) 給食開始 絵本の広場（～12日）
- 15日(月) 6年命の学習 5年琴の鑑賞
- 16日(火) 委員会活動（5・6年）
- 17日(水) 避難訓練 校内書き初め展（～31日）
- 22日(月) 5年フローティングスクール（～23日）
- 23日(火) 1年昔遊び交流会
- 24日(水) 全校集団下校 給食週間（～30日）
- 25日(木) 学級諸費集金日 教育相談日 6年キャリア教育
- 29日(月) クラブ活動（4・5・6年）*クラブ見学（3年）
- 30日(火) 6年租税教室 教育相談日

2・3月の主な行事予定

- 2月 1日(木) 1日入学・入学説明会
(H30年度就学児童・保護者対象)
- 5日(月) ウェルカム能中（第6学年児童参加）
- 8日(木) 6年薬物乱用防止教室
- 16日(金) 学習参観日（午前）
- 19日(月) 委員会活動（5・6年）
- 21日(水) 全校集団下校
- 26日(月) クラブ活動（4・5・6年）
- 3月 2日(金) 6年生を送る会
- 5日(月) 委員会活動（5・6年）
- 20日(火) 卒業証書授与式
- 23日(金) 修了式

規則正しい生活で 健康管理を！

卒業・修了の時に向け一年のまとめの時期・三学期が始まりました。寒さは、ますます厳しくなっていますが、規則正しい生活を心がけ、健康で年度末を迎えられますよう、よろしくお願いいたします。